

【ヒヤリ・ハット事例集】

平成28年3月に実施しました「産業廃棄物処理におけるヒヤリ・ハット事例」の調査結果をとりまとめたものです。

ご協力に感謝申し上げます。今後の業務の参考にさせていただきますようお願い致します。

【収集運搬】	運転	ヒヤリ・ハット No.1
発生状況(何がどうした)		
赤信号で停車、青になって出ようとしたら右側より女性2名走って渡った。		
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)	
横断者の交通意識の低さ	「…だろー運転の徹底」 何が起こるかかわからないので、周りの人や車の動きをしっかりと見る。	
【収集運搬】	運転	ヒヤリ・ハット No.2
発生状況(何がどうした)		
内装材運搬中、積荷の廃プラが飛んで落ち、対向車が廃プラを踏んだ。		
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)	
防護ネットを止めていたゴムが切れてネットがめくれてしまった。	作業前にネットを固定するゴム・ロープ等は確認し、キズなどが有る場合は交換する。	

【収集運搬】	運転	ヒヤリ・ハット No.3
発生状況(何がどうした)		
下校中の小学生がふざけて車道に飛び出してきた。		
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)	
子供がふざけて周りを見ていなかったため	登下校時間帯は、交差点・駐車中の車など、子供は飛び出してくると注意して速度を落として運行する。	
【収集運搬】	運転	ヒヤリ・ハット No.4
発生状況(何がどうした)		
T路地で右折時、右側に駐車していた車列を追い越してきたバイクに接触しそうになった。		
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)	
予測していない場所に早い速度でバイクが進入してきた為。	駐車中の車両の横を通過するときは、飛び出しを想定してスピードを落とし運転する。	

【収集運搬】 運転 ヒヤリ・ハット No.5	
発生状況(何がどうした)	
信号待ちで赤から青に変わり発進しようとしたら、歩道から軽トラが急発進して前を横切り急ブレーキを掛けた。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
考えもしない方向から車が出てきたから	交通法規を順守、急発進・急加速・急ブレーキ等、急な操作をしない。
【収集運搬】 運転 ヒヤリ・ハット No.6	
発生状況(何がどうした)	
前車に続き横断歩道を左折しようと巻き込み確認をして前方に目を移したところ、前車が停車しており急ブレーキを踏んだ。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
前をいく車が止まるという事を考えていなかった為。	周りに車・人・物・死角がある場合は、もしかしたらという気持ちで速度を落として運行する。

【収集運搬】 運転 ヒヤリ・ハット No.9	
発生状況(何がどうした)	
高速道路、料金所先走行中	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
前方より高齢の逆走車両	左側走行、徐行、停止、誘導、前方注視した予測運転
【収集運搬】 運転 ヒヤリ・ハット No.10	
発生状況(何がどうした)	
吉野町、滝之川トンネル下り	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
トンネル内に入った瞬間、左側走行車線に故障車	前方注視、後続車あり、ハザードランプ点滅して注意を促す。

【収集運搬】 運転 ヒヤリ・ハット No.7	
発生状況(何がどうした)	
脇道から、一旦停止しないで車両が出てきて衝突しそうになった。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
必ず、狭い方の車両が止まると思い込んでいた。	前方を絶えず確認しだろ運転をしないせず、時間の余裕を持って運転する。
【収集運搬】 運転 ヒヤリ・ハット No.8	
発生状況(何がどうした)	
雨天時、車両走行中に反対車線のトラックとすれ違った際、水を掛けられ前方が見えなくなりヒヤッとした。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
雨足が急に強くなり反対車線の水溜りに気が付かなかった。	雨天時にトラック、大型車両とすれ違う時は、急ブレーキにならないようスピードを落とし前方に注意する。

【収集運搬】 運転 ヒヤリ・ハット No.11	
発生状況(何がどうした)	
学校残飯の収集を行った際	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
助手の誘導に従い学校の先生も生徒たちを止めていたが、2人の生徒が車に向かって走ってきた為、急ブレーキを踏んだ。	かもしれない運転をしていたため、事故にはならなかった。子供やお年寄り、予測しにくい行動をすることがあるので、細心の注意を払い運転する。
【収集運搬】 運転 ヒヤリ・ハット No.12	
発生状況(何がどうした)	
電話の為路肩に停車後、発進する際	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
電話が終わった後、発進しようとした時、死角からバイクが出てきてヒヤリとした。	発進前に後方カメラとサイドミラーで安全確認したが、目視による死角の確認を怠った。今後は目視による確認を徹底する。また、安全確認した後、一呼吸置いてから発進する。

【収集運搬】 運転 ヒヤリ・ハット No.13	
発生状況(何がどうした)	
国道を走行中、前車が急停止した。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
シルバーマークの前車がウィンカーをあげず、左路肩に停車した。	車間距離をあけていた為、事故にはならなかったが、スピードを落とし余裕を持った運転を心がける。
【収集運搬】 運転 ヒヤリ・ハット No.14	
発生状況(何がどうした)	
バック中に後ろの開閉式の扉が開き駐車中の車に傷をつけた。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
扉が閉まっていなかった。	扉の開閉の確認をするようにした。

【収集運搬】 運転 ヒヤリ・ハット No.15	
発生状況(何がどうした)	
車のバック中に自転車が車の後方に飛び込んできた。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
後方の確認を怠った。	バックの時は、必ず後方の確認をするようにした。
【収集運搬】 積み込み ヒヤリ・ハット No.16	
発生状況(何がどうした)	
フレコン入りの荷をフォークリフトでトラックに積み込むとき、フレコンの紐がフォークリフトのツメに引っ掛かったままバックしようとしてヒヤリとした。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
・紐が外れたか確認不足。 ・フレコンの袋の上まで荷が入っていたので、フレコンの紐が外れにくくなっていた。	リフトの爪からフレコンの吊り紐が離れたことを確認して次の作業に移る。

【収集運搬】 積み込み ヒヤリ・ハット No.17	
発生状況(何がどうした)	
荷台から降りようとしたら、シートのゴムに足が引っ掛かり、転倒しそうになりヒヤリとした。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
足元を見ていなかった。	作業時は慌てず、周囲の確認をしっかりとる。
【収集運搬】 積み込み ヒヤリ・ハット No.18	
発生状況(何がどうした)	
探し物をしながらの移動中、フレコンの帯に足が引っ掛かり転倒しそうになりヒヤリとした。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
足元を見ていなかった。	・作業中は足元に注意する。 ・作業スペースを確保する。

【収集運搬】 積み込み ヒヤリ・ハット No.19	
発生状況(何がどうした)	
公道上で10トンダンプにコンクリート殻を積み込んでいる時、殻が落下し通行車両に当りそうになった。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
交通誘導員も配置し安全確保は万全と思っていたが、重機オペレーターの状態確認が不十分であった。	交通誘導員の配置は勿論のこと、積み込みには物に応じたパランスを保つように、オペレーターは合図者の指示に従い作業するようにした。
【収集運搬】 積込積下ろし ヒヤリ・ハット No.20	
発生状況(何がどうした)	
階段昇降時、荷を後ろ向きに渡そうとした時、足を踏み外し転倒しそうになった。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
不自然な体制で荷を渡そうとしたため。	受け渡す場所を移動して、階段部では受け渡ししないようにした。

【収集運搬】積込積下ろし ヒヤリ・ハット No.21

発生状況(何がどうした)

長物を積み込んでいた時に、後ろに仮置きしていたパイプを倒して後ろの作業者に当りそうになった。

発生原因(なぜ)

仮置きしたパイプを壁に立てかけて置いたため

再発防止対策(どうした)

パイプなどの長物は壁に立てかけず、作業の邪魔にならない場所を決めて置くようにした。

【収集運搬】積込積下ろし ヒヤリ・ハット No.22

発生状況(何がどうした)

荷台の上に機械を乗せた時に機械が滑って落ちそうになった。

発生原因(なぜ)

荷台が泥で汚れ、滑りやすくなっていた。

再発防止対策(どうした)

車を水平になるように設置し、滑りやすい重量物を積み込むときは、敷木を置くようにする。

【収集運搬】積込積下ろし ヒヤリ・ハット No.23

発生状況(何がどうした)

荷扱いの時にアウトリガーが地面に沈んだ。

発生原因(なぜ)

展開時に地盤を目視したが、軟弱と判断しなかった。

再発防止対策(どうした)

地盤を目視確認後、重量物を積み込む場合は荷重を掛けながら地盤の状態も十分確認しながら作業する。

【収集運搬】積込積下ろし ヒヤリ・ハット No.24

発生状況(何がどうした)

ユニックに積込中、リモコン操作を誤り建物に接触しそうになった。

発生原因(なぜ)

車両により操作方法が違っており、勘違いして操作した。

再発防止対策(どうした)

ユニックの操作方法・作動状態を確認してから積込・積降作業する。

【収集運搬】積込積下ろし ヒヤリ・ハット No.25

発生状況(何がどうした)

解体材の積降作業中、廃材の釘に服が引っ掛かり転びそうになった。

発生原因(なぜ)

狭い場所で3人で作業していたため。

再発防止対策(どうした)

機械を使って降ろし、手作業が必要な場合は広い場所に展開する。

【収集運搬】積込積下ろし ヒヤリ・ハット No.26

発生状況(何がどうした)

解体木を重機を使用して下していた時、木が跳ねて重機のガラスに当たった。

発生原因(なぜ)

跳ねるかもしれないという考えを忘れて作業していた。

再発防止対策(どうした)

作業中は跳ねても当たらないように、フロントガラス・ガードを下しておく。

【収集運搬】荷積み ヒヤリ・ハット No.27

発生状況(何がどうした)

クレーン付きトラックで荷積み完了後、アウトリガーを縮めたらトラックが後進した。

発生原因(なぜ)

サイドブレーキのレバーを上まで引っ張ってなかった。輪止めを設置してなかった。

再発防止対策(どうした)

・2人1組での荷積作業実施
・作業前の輪止め徹底
・制御装置、日常点検の徹底

【収集運搬】荷下ろし ヒヤリ・ハット No.28

発生状況(何がどうした)

相手と息が合わず、積荷を落としそうになった。

発生原因(なぜ)

お互いに、個人の作業部分のみを優先しすぎるあまり、意思の疎通が無かった。

再発防止対策(どうした)

掛け声をかけ、お互いが同時に荷卸し作業をする。

【収集運搬】 荷下ろし ヒヤリ・ハット No.29	
発生状況(何がどうした)	
4トンドンプから土砂を下す際、土砂に混じていたガレキがリヤゲートに挟まり、車体が傾き転倒しそうになった。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
リヤゲートに挟まるようなガレキは混じていないの思い込みがあり、リヤゲートを外さず作業してしまった。	土砂の中には何かしら混んでいることを再認識し、面倒くさがらずリヤゲートを必ず取り外してから、ダンプアップするようにした。
【収集運搬】 収集分別 ヒヤリ・ハット No.30	
発生状況(何がどうした)	
ビン分別中	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
回収ビンの中に、割れビン割れコップが混入していた。	お客様の分別項目を分かりやすくした。

【収集運搬】 運搬 ヒヤリ・ハット No.31	
発生状況(何がどうした)	
一般車両の後ろを4トンドンプで走行中、一般車両はストップランプが点かない状態で停車したため、あやうく追突しそうになった。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
走行中の車両が停止する際、ストップランプは付くものと思っていて、咄嗟の状況判断に遅れが出た。	咄嗟の状況判断に遅れが出ても対処できるように、より十分な車間距離を保ち制限速度を守る運転を心掛ける。
【収集運搬】 引抜作業 ヒヤリ・ハット No.32	
発生状況(何がどうした)	
汚泥の引抜作業中	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
ホースが暴れて近く(歩道)の歩行者に接触しそうになりヒヤリとした。歩行者の方は、気づかなかったようでしたが、一歩間違えば大変なことになっていた。	周囲の状況に気を配ることは勿論のこと、ホースの出すぎにも注意し、コーンを立てて注意を促すなどの対策が必要。歩行者の安全を第一に考え作業に当たる。

【収集運搬】 引抜作業 ヒヤリ・ハット No.33	
発生状況(何がどうした)	
引抜作業中マンホールに落ちた。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
汚水清掃の際、蓋の上にゴムシートを取り除く時、後ずさりしながらめくった為、先に開けていた蓋の中に足を入れてしまい、腰まで落ちたところとつさに手をつけて助かった。	汚水蓋の上では後ろ向きで行動せず、蓋を開けたら周りの状況を確認しながら前向きで行動する。蓋は最小限に開け、作業しない蓋は必ず閉める。
【収集運搬】 コンテナ作業 ヒヤリ・ハット No.34	
発生状況(何がどうした)	
コンテナを降ろすためにシートをはいでいたら積み荷の外壁材が、かかとに落ちてきた。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
慣れの作業による積み荷の確認不足。	慣れている作業ほど、常に危険予測しながら作業する。

【収集運搬】 重機 ヒヤリ・ハット No.35	
発生状況(何がどうした)	
解体コンガラを積込中、殻にのって作業していたらバランスを崩しヒヤリとした。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
不安定な状態の殻の上のって作業した。	不用意にガラの上で作業しない。必要がある場合はよく確認・対策を行ってから作業する。
【中間処理】 分別 ヒヤリ・ハット No.36	
発生状況(何がどうした)	
内部解体材を分別中、釘を踏んだが、安全靴だったので踏貫きはしなかった。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
解体材の上ののって移動しようとした。	ヤードの整理に心掛け、乗らずに移動する。踏貫き防止靴を使用する。

【中間処理】 分別 ヒヤリ・ハット No.37	
発生状況(何がどうした)	
有筋コンクリートを小割作業中、散水作業をしていたらコンクリート塊が近くにとんできた。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
小割作業の近くに近づきすぎた。	作業状況・粉塵状況を見て作業し、出来るだけ離れて作業する。
【中間処理】 分別 ヒヤリ・ハット No.38	
発生状況(何がどうした)	
鉄屑をドラムに入れようとした時、ドラムの蓋が重く持ち上げた時に手が滑り足に落としそうになった。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
・雨が降って濡れていた。 ・蓋が重かった。	・雨の日は手元足元が滑りやすいので注意して作業する。 ・「作業中は取り扱うものが重いかもしれない」と思い、不用意に持ち上げないように、KYを行う。 ・蓋は軽いものに変える。

【中間処理】 重機 ヒヤリ・ハット No.41	
発生状況(何がどうした)	
重機を使用して分別中、ポールに附属物が付いており近くに駐車していた車両に接触しそうになった。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
作業する近くに駐車していた。	積荷の長さの2倍以上のスペースを確保できるところで作業する。必要がある場合、移動できるものは移動させてから注意して作業する。
【中間処理】 再生処理 ヒヤリ・ハット No.42	
発生状況(何がどうした)	
解体がれき類の状況を確認中、鉄筋につまづき転倒しそうになった。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
解体がれきの鉄筋が見えづらかった。	不必要にがれき内に立ち入らない。朝夕薄暗い時を避けて確認する。

【中間処理】 分別 ヒヤリ・ハット No.39	
発生状況(何がどうした)	
分別中コンボの爪で塩ビパイプを掴み損ねて飛んできた。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
急いでいた。 危ないと思わなかった。	重機のそばに近寄らずに声掛けをして作業をする。(急がず、あわてず)
【中間処理】 重機 ヒヤリ・ハット No.40	
発生状況(何がどうした)	
キャタピラ旋回中に、作業員に接触しそうになった。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
作業指示をオベに伝えようとして不用意に近づいた。	作業中の重機に近づかない。安全柵の外よりオベが目視したことを確認してから合図して近づく。

【中間処理】 設備修理 ヒヤリ・ハット No.43	
発生状況(何がどうした)	
コンクリート破砕機、ドシャベルト先端を溶接補強中、溶接の火玉が服の中に入り少し火傷をした。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
落ちてくるのは分かっていたが危ないとは思っていなかった。	慣れが一番の不安につながらるので手を抜かない。
【中間処理】 機械清掃 ヒヤリ・ハット No.44	
発生状況(何がどうした)	
コンプレッサーで清掃中	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
プラ減容機の清掃作業中に、エアーガンのエアーでゴミが飛ばされて目に入った。	エアーガン使用時は、周りを確認して作業を行い、ゴーグルなどを着用する。

【最終処分】 荷下ろし ヒヤリ・ハット No.45	
発生状況(何がどうした)	
ダンプがバック、左側が脱輪しそうになった。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
重機が右後ろにいたため、右側だけ見ていた。	誘導員を配置した。

【最終処分】 重機 ヒヤリ・ハット No.46	
発生状況(何がどうした)	
バックホーで廃材を処分中、作業員に廃材が衝突するところだった。	
発生原因(なぜ)	再発防止対策(どうした)
作業員が重機の死角にいたため。	オペレーター作業員に声を掛け、ホーンを鳴らす等を行うようにする。

“ハインリッヒの法則”

『1:29:300』という法則があります。『1つの重大災害の下には、29の軽傷事故があり、その下には300の無傷事故がある』という意味で、労働災害の事例の統計を分析した結果、導き出されたものです。

これをもとに『1件の重大災害(死亡・重傷)が発生する背景に、29件の軽傷事故と300件のヒヤリ・ハットがある』という警告として、安全活動の中で多く採り上げられる言葉です。

